

令和7年度事業報告

1 県民会議キャラバンの開催

地域で活動しているキーパーソン等の取組を参加者で共有し、参加者が行動を起こすきっかけにし、活動の輪を広げる目的で、10地域で開催しました。

開催月日	開催地域 (開催場所)	テーマ
7月3日	北アルプス地域 (白馬村・樅の木ホテル The Pub)	北アルプスから未来に向けた一步を増やすには？
8月4日	南信州地域 (飯田市・丘の上結いスクエア)	南信州を見つめる新たな視点 未来へつづく可能性を語らおう
8月6日	松本地域 (塩尻市・CORE塩尻)	「つづくまち」への関わり方を考える
10月4日	佐久地域 (佐久市・望月少年自然の家)	子どもがのびのび育つ地域とは
10月29日	北信州地域 (飯山市・文化交流館なちゅら)	「つづく」地域について考える
11月13日	諏訪地域 (諏訪市・すわっチャオ)	『人が育ち、技術がつながる企業とは』 ～諏訪地域の実践者とみんなで語り合う～
11月24日	木曽地域 (木曽町・木曽おもちゃ美術館)	やってみたいが動き出す日
11月27日	上伊那地域 (伊那市・inadani sees)	「公」と「私」のあいだを考える
12月11日	長野地域 (長野市・Terminal51°)	“こうあるべき”より “こうしたい”で未来をつくる
1月27日	上田地域 (上田市・+519worklodge)	寛容と挑戦 女性や若い世代が “ここにいたい”と思える職場とは

2 全体会の開催

「県民会議キャラバン」などにつながりをつくった各地域の人々を中心に、全体会を開催しました。

開催月日	開催場所	内容
12月26日	シャトレーゼ ホテル長野	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムニスト・ラジオパーソナリティのジェーン・スー 氏をゲストに迎え、「自分を受け容れ、誰かを受け止める」をテーマに講演会を実施 ・「寛容な社会」をつくるヒントを考えるきっかけとしてもらう
3月24日	信毎メディア ガーデン	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少下でもより良い信州の未来をつくるために、これまで県民会議に関わってきた人たちをはじめ多くの人が地域の枠を超えて「出会い・つながり・語る」ことで、共に「動きだす」場として開催 ・ファシリテーターに古瀬 正也 氏を起用

3 勉強会

信州未来共創戦略の内容などについて気軽に学び・考えることができる会員限定のオンライン勉強会を開催しました。

開催月日	テーマ	講師
7月16日	都道府県ジェンダーギャップ指数	山脇 絵里子 氏 一般社団法人 共同通信社
9月17日	ファシリテーションスキルの基本講座	広石 拓司 氏 株式会社 エンパブリック
10月28日	縮小社会と地域 -地域から撤退するという選択肢をどう考えるか	田中 佑典 氏 NPO 法人 ムラツムギ
12月18日	届けたい人に届く発信とは？～地域に“共感”が生まれる SNS のつくり方～	尾野 紗恵子 氏 長野県広報パートナー
1月8日	どうしてここには人が集まるのか？「私」から始める広場づくりのポイント	山下 裕子 氏 広場ニスト
2月25日	地域を紡ぐ手～「高質な田舎」を考える～	稲生 享 氏 NPO 法人 福祉コミュニティ KOUZAKI 山下 荃三 氏 NPO 法人 おおいた NPO デザインセンター 羽田 一郎 氏 芋井地区住民自治協議会 内田 光一郎 氏 大岡地区住民自治協議会 阿部 今日子 氏 認定 NPO 法人長野県 NPO センター
3月13日	若者は“使いやすい”存在じゃない～地域に関係を育てるマーケティング思考	正能 茉優 氏 株式会社 ハピキラ FACTORY

4 プロジェクトチーム (PT)

戦略に関する特定のテーマについて、関心のあるメンバーが集まり、具体的な取組が企画・実行されました。

PT	取組内容
移住PT	<ul style="list-style-type: none"> ・移住や地域づくりに携わる参加者で課題や取組を共有 ・仲間づくりや移住するきっかけをつくるために地域で活躍する人の動画を制作
男性の家事・育児参加PT	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児参加に関心のある参加者で組成 ・11月16日「BonVoyage! 旅する蚕の市」で男性育休に係るアンケートを実施 (158人が回答)
ユースセンターPT	<ul style="list-style-type: none"> ・県内におけるユースセンターの課題を共有し、幅広く議論を深めるため意見交換 ・有識者を招いた勉強会、有志による先進地視察を実施

地域の教科書作成促進PT	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・行政・移住者等の相互理解促進に向け、地域のルールを記載する“地域の教科書”のひな形を制作 ・ひな形や活用のポイント等を紹介する説明会を実施
木や森の学びと暮らしの輪を広げるPT	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾谷・伊那谷フォレストバレー運営協議会、地域おこし協力隊、長野県で組成 ・1年間の取組と成果、今後の課題を紹介する「木や森の未来を語るプロジェクト成果発表会」を開催し、意見交換
持続可能な物流の実現を目指すPT	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な物流をテーマにした写真・映像展「届く手前には、1人のドライバーがいます。」の企画・運営
木曾街道バスPT	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾11宿をつなぐ「街道バス」の実現を目指すため、関係者との意見交換を実施
広報PT	<ul style="list-style-type: none"> ・県民会議の認知度を高めるとともに、価値観の転換や行動変容につなげることを目的とした動画やCMを作成
若者応援PT	<ul style="list-style-type: none"> ・若者支援の取組の視察や関係者との意見交換を通じて、現状の課題等について情報収集を実施

5 運営委員会の開催

県民会議の企画及び運営や広報活動等について審議いただきました。

開催月日	開催場所	議題
4月8日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度県民会議全体スケジュール（案） ・同じ方向で活動している集まり・会議などとの連携について ・令和7年度県民会議の活動について
5月12日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の開催について（30日）
5月30日	県庁	<ul style="list-style-type: none"> ・県民会議の今後の方向性について
6月12日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開催について（参加者候補） ・全体会について（有識者候補、名称） ・コミュニティについて ・広報について（ホームページ構築について）
7月10日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会の進め方について ・プロジェクトチームについて ・広報について（子どもに向けた発信）
8月7日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームについて
9月8日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームについて ・令和8年度事業について
10月6日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度重点的に取り組む事項について
10月16日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・10月6日運営委員会の概要と今後の方向について ・令和8年度重点的に取り組む事項（旗）について ・令和8年度事業（案）について ・プロジェクトチームについて
11月21日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・広報について ・全体会の概要と進め方について
12月18日	県庁	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会について（12月全体会の進め方） ・全体会について（3月全体会の概要イメージ（たたき台））
1月15日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・3月全体会について ・知事とのランチミーティングについて

2月12日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民会議の進め方について ・ 書面開催議題について ・ 3月全体会について
3月17日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度事業計画案等の書面審議結果について ・ 3月全体会について ・ 今年度の振り返りと今後の方針について

6 広報活動

共感の輪を広げ、新たな仲間と参加のきっかけを創出するため、県民会議キャラバンや全体会等の活動レポートを「県民会議公式 note」で発信したほか、県民会議への想いや活動者の取組を動画で紹介し、多様な視点や実践の広がりを可視化しました。さらに、「信州未来共創戦略」のエッセンスを子どもたちにわかりやすく伝えるため、漫画冊子を制作し、未来について考えるきっかけづくりを推進しました。

また、寛容性の大切さへの気づきや価値観の転換を促すため、動物を起用した CM・WEB 広告、新聞広告を展開し、幅広い層へメッセージを届けました。加えて、「県民会議公式ホームページ」を開設し、戦略や各プロジェクトチームの取組紹介、最新情報を発信するとともに、会員自らのアクションを投稿・共有できる機能を整備することで、参加と共創が広がる基盤を構築しました。